

# 編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-164	小学校	国語科	書写	2
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2 東書	書写 206	新編 新しい しよしゃ 二		

## 1. 編修の基本方針

### 自分の字を好きになる。その「かぎ」を探しに行こう。

文字を書くことは、易いようで難しい。どこをどうすれば整って、読む人に伝わる文字になるのか。だいたいなポイントを「書写のかぎ」と名付けています。

学びを積み重ねていくことで、子供たちの文字は変わります。読む人のことを思って丁寧に文字を書くために「書写のかぎ」を活用し、自分を伝える術を磨いてほしい。そして豊かに世界とつながってほしい。そう願って、私たちは、この教科書を編修しました。



1

### シンプルに、明快に、書くことを学ぶ

— 「そうか!」と思えることをだいにしました。

児童が「何ができるようになるか」を知って、そのために「何を学ぶか」「どのように学ぶか」が分かる構成としました。個々の学習事項を積み上げ、それを「生活に広げる」ことができるようになる。学習事項のポイントである「書写のかぎ」を従来よりも具体的に明確に示しました。

2

### もっと書写の学びがつながる

— 「何のために? いま、何をやっているの?」に答えます。

児童が日常から課題を見つけ、教科書を手段として解決していく様子を導入で示しました。「主体的・対話的で深い学び」につながります。学年の学習事項も一覧しながら、単元の学びがつながる工夫も施しました。見通しを持って学ぶことができます。

3

### みんなて、いつでも、書写を

— みんなそれぞれ、どこにいるときも学べます。

児童を誰一人取り残さない。その決意で、左利きの持ち方を右利きと同様に示すほか、特別支援教育の観点、色覚特性等、あらゆる側面をチェックしました。また、すべての基本単元の導入にデジタルコンテンツを用意し、授業を支援するとともに、どこにいても個別最適な学びが実現するようにしました。

# 1

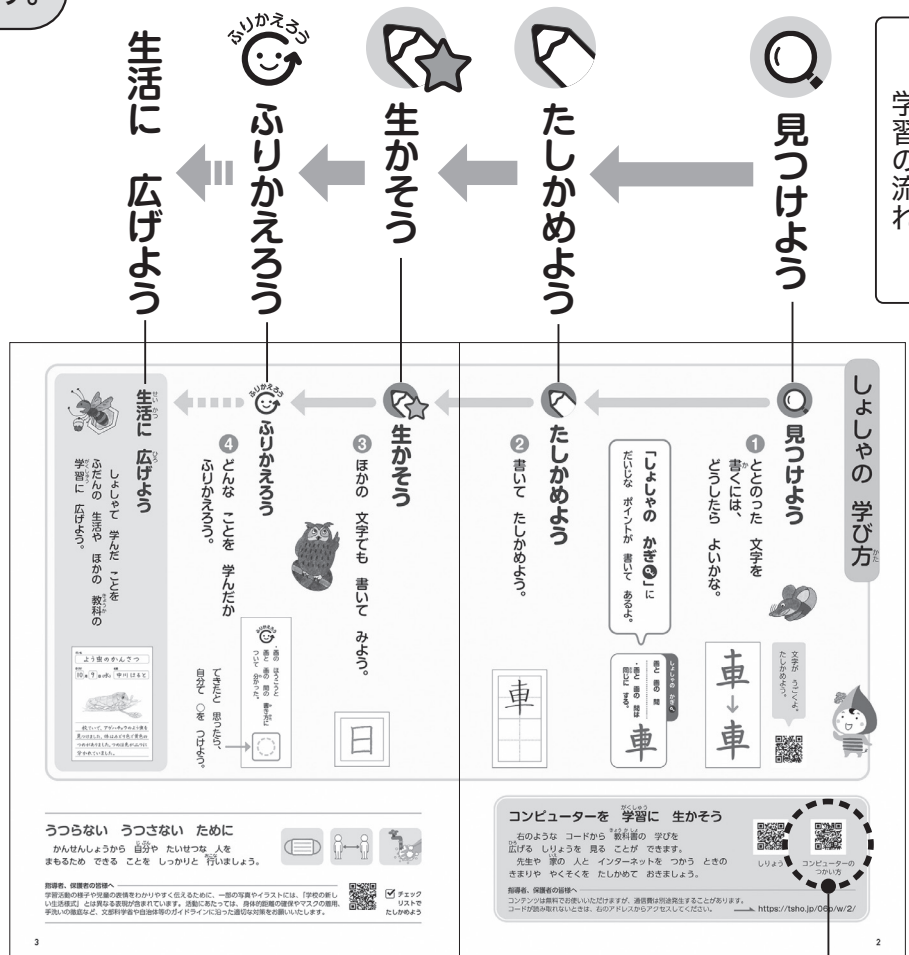
## シンプルに、明快に、書くことを学ぶ

— 「そうか！」と思えることをだいにしました。

課題を見つけ、確認し、  
生かして納得する学習過程です。

「見つけよう」で基本単元の学習事項を発見し、「たしかめよう」で教材文字を書き、「生かさう」で学習事項をほかの文字にも生かして納得し、「ふりかえろう」の自己評価で達成感を得る学習過程です。

学習の流れ



p.2-3

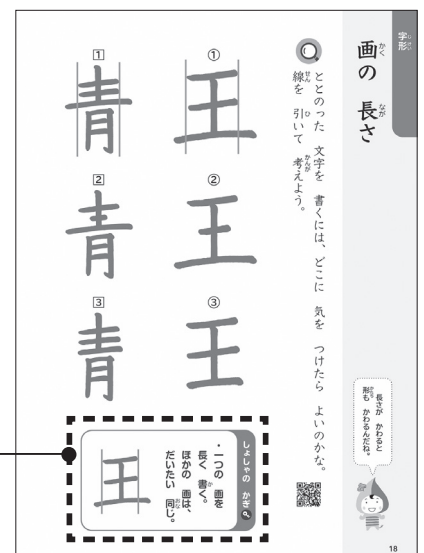
初めてコンピューターに触れる児童にも分かりやすい解説ページを用意しました。

(全学年に掲載)



学習事項のポイント「書写のかぎ」は、発達段階に応じた示し方にしています。

系統的に整理した小学校の学習事項それぞれのポイントを、「書写のかぎ」として示しています。発達段階を考えて、2年生では図版も用いながら、端的で分かりやすい説明を目指しました。



p.18

2

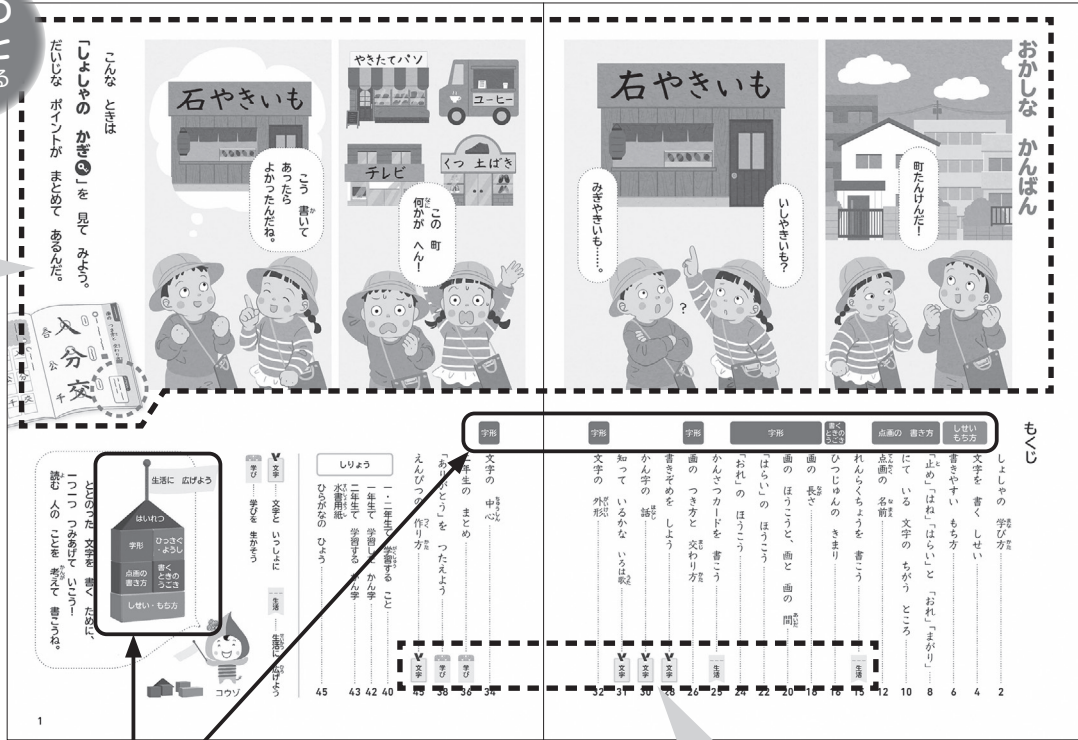
# もっと書写の学びがつながる

— 「何のために？ いま、何をやっているの？」に答えます。

- ・ 日常の課題を解決する教科書であることを導入で示しました。
- ・ 書写の学びの全体像と、個々の単元のつながりを視覚的に分かりやすく示しました。

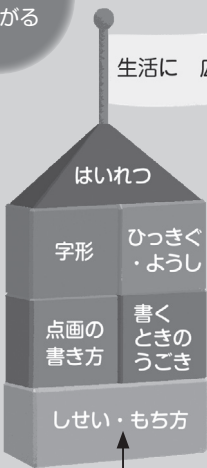
日常の課題とつながる

解決する様子をイラストで楽しく示しました。



表紙裏 - p.1

学習事項が つながる



学びの全体像を積み木で表しました。その積み木の色を、目次や基本単元のタイトルに使用して、つながりを分かりやすくしました。

生活と つながる

学びを広げる単元



### 「生活に 広げよう」

学びを他教科や学校生活に生かします。

- ▶ ・れんらくちょうを 書こう
- ・かんさつカードを 書こう



### 「文字と いっしょに」

「文字文化」にさまざまな観点から触れ、児童の学ぶ意欲を高めます。

- ▶ ・書きそめを しよう
- ・かん字の 話 など



### 「学びを 生かそう」

一年間の学習をまとめています。

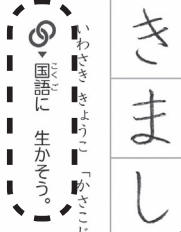
- ▶ ・二年生の まとめ
- ・「ありがとう」を つたえよう

他教科と つながる

〈他教科とのつながり〉

国語につながる学びが4か所、生活科が2か所にあります。

🔗 リンクマークで示しています。



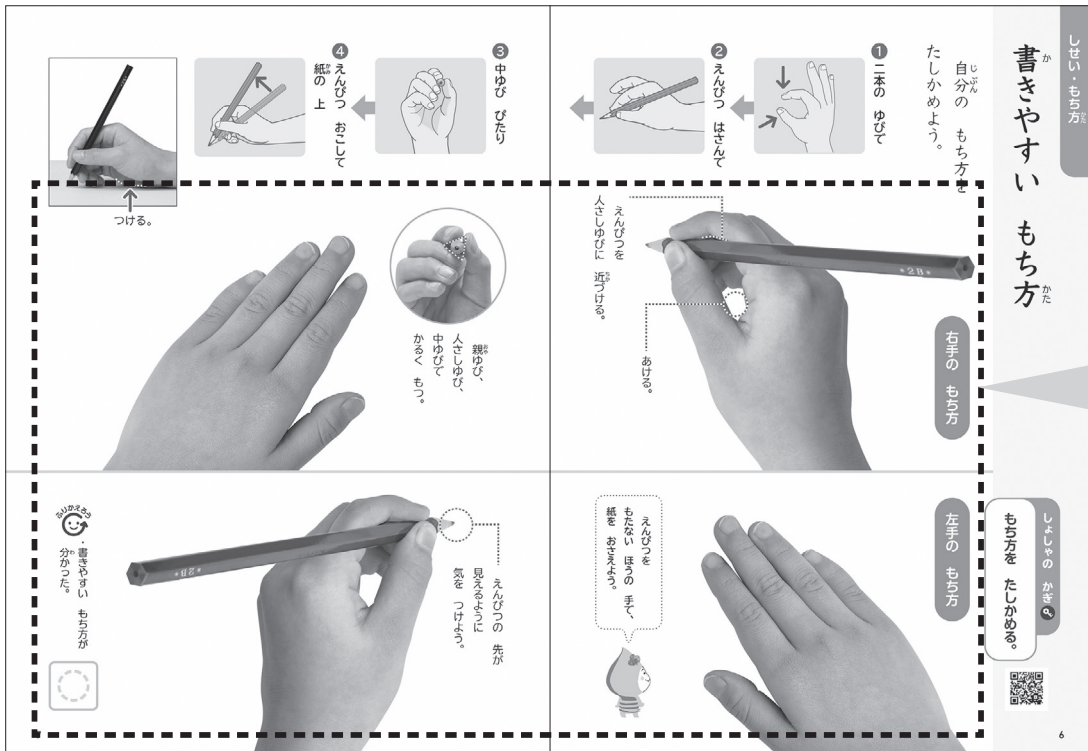
# 3

## みんなで、いつでも、書写を

— みんなそれぞれ、どこにいたるときも学べます。

左利き対応、特別支援教育、色覚特性などに配慮しました。

左利きの持ち方・構え方を右利きと同様に示しました。特別な支援を必要とする児童にも分かりやすい紙面とし、色覚特性にも配慮しています。



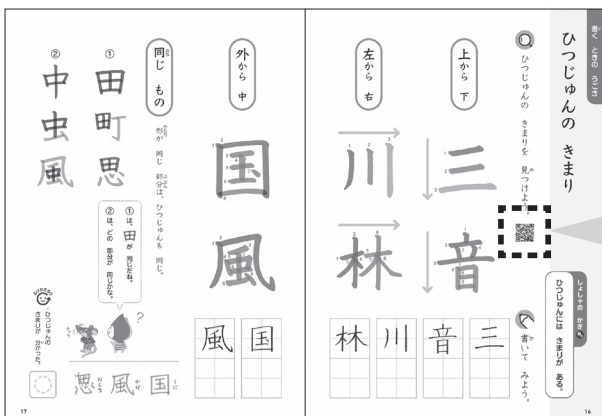
右手の  
もち方  
左手の  
もち方

左利きの児童も学びやすいよう、  
同様に示しました。

p.6-7

すべての基本単元の導入に QR コンテンツを用意。GIGA スクール構想への対応が万全です。

すべての基本単元の「みつけよう」に、アニメーションなどを QR コンテンツで掲載。授業の導入にも、家庭学習にも使えます。



二次元コード (QR コンテンツ数)	アニメーション	12 か所 (12)
	動画	4 か所 (6)
	その他の動画等	4 か所 (4)

p.16-17



## 2. 対照表

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所 (頁)
導入	おかしな かんばん／ もくじ	児童の日常から課題を見つける導入によって、真理を求める態度を養えるよう配慮した。(第一号)	表紙裏-1
	しょしゃの 学び方	書写の学び方を理解することで、自主及び自律の精神を養えるよう配慮した。(第二号)	2-3
しせい・ もち方	文字を 書く しせい	正しい姿勢を覚える書写体操と標語を冒頭に置き、健やかな身体を養えるよう配慮した。(第一号)	4-5
	書きやすい もち方	個人の価値を尊重して、その能力を伸ばすために、左右両方の利き手での鉛筆の持ち方を示した。(第二号)	6-7
点画の 書き方	「止め」「はね」「はらい」と 「おれ」「まがり」	児童が主体的に課題を発見していく活動によって、真理を求める態度を養えるよう配慮した。(第一号)	8-9
	にて いる 文字の ちがう ところ		10-11
	点画の 名前		12-14
生活に 広げよう	れんらくちょうを 書こう	連絡帳を整えて書くことで日々の自己管理を行い、自主及び自律の精神を養えるよう配慮した。(第二号)	15
書く とき の うごき	ひつじゅんの きまり	児童が主体的に課題を発見していく活動によって、真理を求める態度を養えるよう配慮した。(第一号)	16-17
字形	画の 長さ		18-19
	画の ほうこうと、 画と 画の 間		20-21
	「はらい」の ほうこう		22-23
	「おれ」の ほうこう		24
生活に 広げよう	かんさつカードを 書こう	かんさつカードを書くことで、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養えるよう配慮した。(第四号)	25
字形	画の つき方と 交わり方	児童が主体的に課題を発見していく活動によって、真理を求める態度を養えるよう配慮した。(第一号)	26-27
文字と いっしょに	書きそめを しょう	書きそめの習慣を学ぶことで、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養えるよう配慮した。(第五号)	28-29
	かん字の 話	漢字の成り立ちを学ぶことで、幅広い知識と教養を身に付ける態度を養えるよう配慮した。(第一号) イラストを日本の昔話にすることで、我が国と郷土を愛する態度を養えるよう配慮した。(第五号)	30
	知って いるかな いるは歌	いろは歌について知ること、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養えるよう配慮した。(第五号)	31
字形	文字の 外形	児童が主体的に課題を発見していく活動によって、真理を求める態度を養えるよう配慮した。(第一号)	32-33
	文字の 中心		34-35
学びを 生かそう	二年生の まとめ	クイズ形式で知識をまとめる活動によって真理を求める態度を養い、隣接する教材物語と関連した自然のなかの絵によって豊かな情操を培えるよう配慮した。(第一号)	36-37
	「ありがとう」を つたえよう	文字を整えて感謝の気持ちを伝える手紙を書くことで、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるよう配慮した。(第三号)	38-39
しりょう	一・二年生で 学習する こと	第一学年と第二学年での学びを振り返ることで、自主及び自律の精神を養えるよう配慮した。(第二号)	40-41
	一年生で 学習した かん字 (80 字)	第一学年と第二学年で学ぶ漢字とその筆順をまとめ参照できるようにすることで、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるよう配慮した。(第三号)	42
	二年生で 学習する かん字 (160 字)		43-44
文字と いっしょに	どう やって 作るの えんぴつの 作り方	鉛筆の作り方を知ること、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養えるよう配慮した。(第二号)	表紙裏 45

## 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- **通学時の持ち運び等の負担に配慮**して、教科書・端末を並べて学習しても無理のないサイズにすると共に、十分な強度を持ちながら軽量な用紙を開発しました。同時に、用紙は鉛筆で書き込みもしやすく、判型を小さくしても**書き込み欄は充実**したままにしました。(第一号)
- **授業支援**を念頭に置き、学習過程を明確かつ丁寧に示すことによる無理のない指導の実現、QR コンテンツの利用による授業の効率化などに取り組みました。(第二号)
- **幼保連携**を意識した1年生の紙面を引き継ぎながら、3年生以上の**系統性**も表に出していくことに特に意を用いました。(第一号)

# 編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-164	小学校	国語科	書写	2
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2 東書	書写 206	新編 新しい しよしゃ 二		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

1

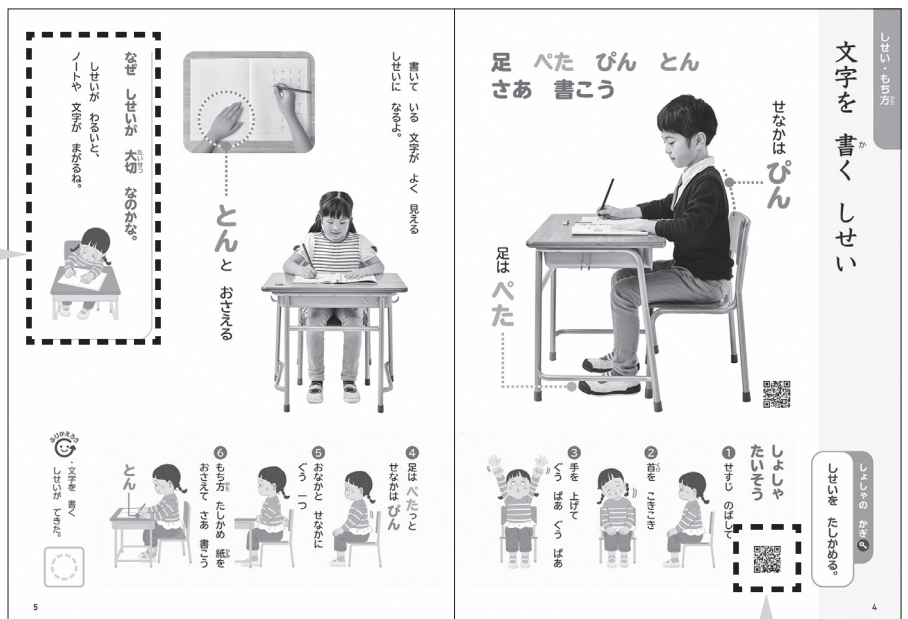
### 書くことの基礎をつくる

—書くための姿勢や持ち方を身に付けるために—

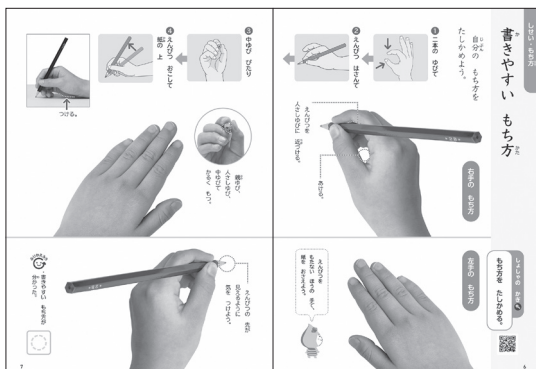
姿勢の説明も持ち方も、より丁寧に示しました。

「足 ぺた ぴん とん さあ 書こう」とリズムカルな標語は記憶に残ります。QR コンテンツでは、姿勢や「しよしゃ たいそう」の動画も見ることができ、書写を学ぶ準備を確認できます。「書きやすい もち方」も、より丁寧に分かりやすく示しました。

2年生にはあえて悪い姿勢も示して、姿勢の重要性を強調しています。



p.4-5



p.6-7



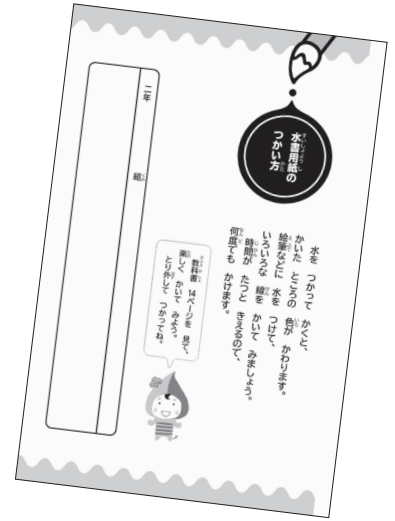
# 2

## くりかえし手を動かしてみる

—鉛筆を正しく持って書くために

水書用紙を1年と2年に用意しています。

楽しく手を動かすことから始め、力を入れすぎずに鉛筆を持つ、終筆の特徴をつかむ、など、水書利用にはさまざまな効用があります。毛筆が始まるまでの準備としても有効です。



巻末綴じ込み  
「水書用紙の つかい方」

点画は いくつ あるかな。

1 横画が  
2 たて画が  
3 おれが  
4 点

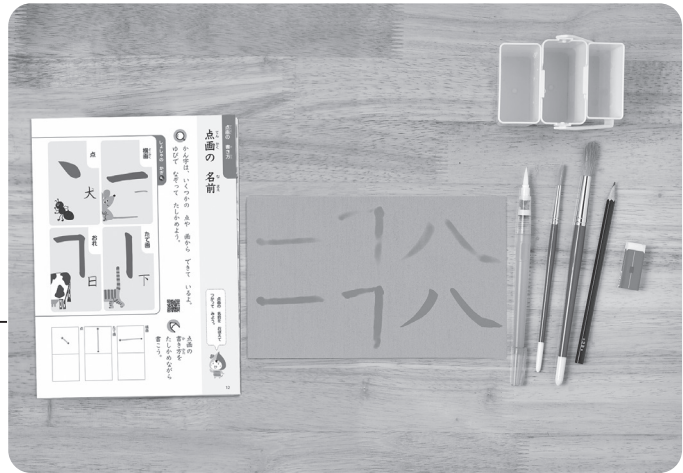
ほかの かん字でも 教えてみてね。

水書用紙 いろいろな 道具を つかって 書いてみよう。

教科書に ついて いる 水書用紙で 水をつけた 絵筆などを つかって、 点画の 書き方を たしかめよう。

水書用紙の いろいろな 道具を つかって 書いてみよう。

教科書に ついて いる 水書用紙で 水をつけた 絵筆などを つかって、 点画の 書き方を たしかめよう。



p.14

# 3

## 楽しく考えよう

—児童が自ら考えたくなるように

クイズに答えるようにして学べます。

文字について主体的・積極的に考えて、理解を深められるよう工夫しています。

点画は いくつ あるかな。

1 横画が  
2 たて画が  
3 おれが  
4 点

ほかの かん字でも 教えてみてね。

答えは、さいごのページ。

p.14 部分

どう やって 直したら よいかな。

石手 ←  
手

刀もち ←  
もち

p.27 部分

# 4

## 教科書を何度でも開こう

— 授業で終わり、ではなく、また見たくなるように

絵本のように楽しい紙面を目指しました。

児童が教科書に親しみを持つことができるよう、ユーモアのあるイラストを各所に取り入れました。幼稚園・保育園で絵本を見慣れた児童にとって、紙面が楽しいことは学習意欲につながります。



案内役「コウソウ」

p.12-13

p.35

p.30-31

『桃太郎』を題材にした「かん字の 話」や、国語の教材をモチーフに「二年生の まとめ」を迷路で作成するなど、児童の興味を引く仕掛けを随所に盛り込みました。



p.36-37



## 教科書の特色

教育基本法への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書写学習を通して、幅広い知識と教養を身に付けるとともに、自らの文字を正しく整ったものにしていく課題解決の過程で、自主・自律の精神を養えるよう編修しました。</li> <li>・文字文化単元「文字といっしょに」を通して、伝統と文化を尊重する態度を養えるよう配慮しました。</li> </ul>
学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領の書写に関する事項をもれなく指導し、ねらいを達成できるよう、単元を組織・配列しています。</li> </ul>
単元の系統性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書写学習の基礎・基本的な事項を確実に習得できるよう、学年の発達段階に応じて重点化しながら系統的に単元を配列し、螺旋的に学習できるよう工夫しています。</li> <li>・単元ごとに原則として一つの「書写のかぎ」を置き、単元名にも指導事項を端的に示すことで、学習のねらいを明確化・焦点化しています。</li> <li>・書写の学習要素を系統的に分類・整理して、児童自身が系統性を意識した学習ができるよう工夫しています。</li> </ul>
2・3学期制や複式指導への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の配列及び時間配当は、3学期制、2学期制のいずれにも対応できるよう配慮しています。</li> <li>・複式指導に配慮して、異なる学年でも単元の区切りが同時期になるよう、単元配列を工夫しています。</li> </ul>
教材の選定程度・分量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元の指導事項に適した字形を持つ文字であり、かつ、学年段階に応じた語彙を選んでいきます。</li> <li>・学年の配当時数に照らして適切な単元数、分量にしています。</li> <li>・児童の学びやすさを考慮した簡明な字形・書き方としています。学習指導要領の学年別漢字配当表の字形に拠って、書風は健康的で明るく、濃度や筆圧にも配慮して執筆しています。</li> <li>・図解やイラスト、写真などの人物の人数や役割には、性別による極端な偏りがないよう配慮しています。</li> <li>・取り上げた児童作例などは、外国人児童などの日本語指導の必要な児童にも配慮しています。</li> </ul>
国語科国語や他教科の学習、学校生活との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生活に広げよう」などにおいて、絵日記や生活作文など、国語と連動させた言語活動を取り上げ、生活に活用できる書写力を育成するようにしています。</li> <li>・日常生活の中では横書きが多い現状に考慮し、他教科の学習や生活の中で使う例として、横書きの教材も取り入れています。(p.25、p.38)</li> <li>・国語や他教科の学習と連動している教材には、関連マークをつけて意識づけを図っています。</li> <li>・「こんな 本も いっしょに」で、教材に関連する図書を紹介して読書指導の充実を図っています。(p.30)</li> <li>・当該学年の漢字を提出する際は読み仮名や筆順を示し、国語の学習時期による支障がないよう配慮しました。</li> </ul>
特別な支援を要する児童への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育の専門家の校閲を受け、全ページにわたって検証を行っています。</li> <li>・文意を理解しやすいように、文節で改行しています。</li> <li>・学習に集中し、紙面の中のだいたいの情報に着目できるように、レイアウトや色使いを工夫しました。</li> <li>・点画の書き方の特徴を、動物や擬態語を使って表現し、児童それぞれの理解の仕方に合うよう多感覚へ働きかける工夫をしました。</li> </ul>
カラーユニバーサルデザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色覚の多様性に配慮し、カラーユニバーサルデザイン観点から、配色およびデザインについて、全ページにわたって専門家による検証を行っています。</li> </ul>
学習者用デジタル教科書・拡大教科書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育に有効な機能が充実した学習者用デジタル教科書を発行予定です。</li> <li>・弱視の児童の学習のために、教科書と同じ内容の拡大教科書を発行します。</li> </ul>
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章は的確・簡潔で、学年段階に応じて分かりやすい表現とし、表記や用語は統一した基準を設けています。</li> <li>・使用する漢字は、原則として当該学年以下とし、当該学年の漢字には振り仮名をつけています。</li> </ul>
活字	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手書きの硬筆文字の字形や書き方に準拠し、国語・書写の学習に適した教科書体を独自に開発しました。</li> <li>・教科書体以外は、振り仮名などに読みやすいユニバーサルデザインフォントを使用しています。</li> </ul>
判型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書き込み欄は充実したままに、教科書・端末を並べて学習しても無理のないサイズにしました。</li> </ul>
印刷・製本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・硬筆文字は、印刷の濃度や色味を調整して、より本物に近く、見やすいものになっています。</li> <li>・印刷は鮮明で正確です。</li> <li>・用紙は、鉛筆で書き込みがしやすく、十分な強度を持ちながら軽量なものを使用しています。通学時の持ち運び等の負担に配慮しています。</li> <li>・表紙は、見開きの状態を維持しやすい紙に耐久性を高める加工をし、特に堅牢な針金綴じで製本しています。</li> <li>・環境へ配慮し、再生紙や植物油インクを使用し、「グリーンプリンティング認定工場」で印刷・製造を行っています。</li> </ul>
GIGA スクール構想への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本単元の導入に、QR コンテンツでアニメーションなどを用意しています。</li> <li>・情報教育の研究者や実践者に指導を受け、ICTを活用して、学びを効果的に高められるようにしています。</li> </ul>
感染症予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書冒頭に、感染症の予防について注意喚起を行う「うつらない うつさない ために」を設けています。</li> <li>・二次元コードから、基本的な感染症予防についてまとめたサイトを閲覧することができます。</li> </ul>

## 2. 対照表

図書の構成・内容		学習指導要領の内容			該当箇所(頁)	配当 時数	指導 時期	3 学 期制	2 学 期制						
		(ア) 姿勢や筆記具の持ち方を正しくして書くこと。	(イ) 点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くこと。	(ウ) 点画相互の接し方や交わり方、長短や方向などに注意して、文字を正しく書くこと。											
導入	おかしな かんばん / もくじ				表紙裏-1	3	4	12	18						
	しょしゃの 学び方				2-3										
しせい・もち方	文字を 書く しせい	○			4-5	6-7				14	17				
	書きやすい もち方	○			6-7										
点画の書き方	「止め」「はね」「はらい」と「おれ」「まがり」	○	○		8-9	2	5					14	17		
	にている文字のちがうところ	○	○	○	10-11	2	5/6								
	点画の 名前	○	○		12-14	2	6								
生活に 広げよう	れんらくちょうを 書こう	○	○	○	15	1	6							9	
書く とき の うごき	ひつじゅんの きまり	○	○		16-17	2	7								
字形	画の 長さ	○	○	○	18-19	3	9								
	画の ほうこうと、 画と 画の 間	○	○	○	20-21	3	9/10								
	「はらい」の ほうこう	○	○	○	22-23	2	10								
	「おれ」の ほうこう	○	○	○	24	1	11								
生活に 広げよう	かんさつカードを 書こう	○	○	○	25	1	11	9							
字形	画の つき方と 交わり方	○	○	○	26-27	2	11								
文字と いっしょに	書きぞめを しよう	○	○	○	28-29	2	12								
	かん字の 話				30	(配当 なし)	適宜								
	知って いるかな いろは歌				31	(配当 なし)	適宜								
字形	文字の 外形	○	○	○	32-33	2	1								
	文字の 中心	○	○	○	34-35	2	1/2								
学びを 生かそう	二年生の まとめ	○	○	○	36-37	2	2								
	「ありがとう」を つたえよう	○	○	○	38-39	2	2/3								
しりょう	一・二年生で 学習する こと				40-41	1	3								
	一年生で 学習した かん字 (80 字)				42	(配当 なし)	適宜								
	二年生で 学習する かん字 (160 字)				43-44	(配当 なし)	適宜								
文字と いっしょに	どう やって 作るの えんぴつの 作り方				表紙裏 45	(配当 なし)	適宜								
					35										